

## 「JENESYS2.0」香港高校生訪日団第2陣 訪問日程 平成27年2月8日（日）～2月16日（月）

### 1 プログラム概要

香港特別行政区政府教育局が派遣した香港高校生訪日団第2陣計71名が、2月8日から2月16日までの8泊9日の日程で来日しました。（団長：鐘呂傍（ショウ・ロボウ）楽道中学校長）

本事業は「JENESYS2.0」の一環として行われ、訪日団の第1グループは愛知県、第2グループは長崎県を訪問し学校交流やホームステイを行ったほか、両県及び東京都、大阪府にて、大学訪問、観光や産業など地域の多彩な魅力に触れるブリーフ、先端技術や環境、防災などに関する視察を通じ「クールジャパン」を体感し、同世代や一般市民との友好交流と相互理解を深めました。

### 2 日程

#### 2月8日（日）

羽田空港より入国

#### 2月9日（月）

オリエンテーション、ロボット技術に関する講義、日本科学未来館参観、歓迎会

#### 2月10日（火）

皇居・二重橋参観、国会議事堂視察、東京外国語大学訪問、交流

#### 2月11日（水）

第1グループ：愛知県へ移動、トヨタ組立工場視察、徳川美術館参観

第2グループ：長崎県へ移動、平和公園視察、和風温泉旅館での日本文化体験

#### 2月12日（木）

第1グループ：愛知県による講義、防災学習（名古屋市港防災センター）、熱田神宮参観

第2グループ：長崎県による講義、大浦天主堂・グラバー園参観、環境学習（ハウステンボスバックヤード）

#### 2月13日（金）

第1グループ①：学校交流（愛知県立旭野高校、愛知県立春日井高校）、ホームステイ

第1グループ②：環境学習（名城水処理センター）、学校交流（愛知県立春日井商業高校、愛知県立瀬戸西高校）、ホームステイ

第2グループ：学校交流（長崎県立佐世保北高校）、ホームステイ

#### 2月14日（土）

第1グループ：ホームステイ、ホームステイ解散式、和風温泉旅館での日本文化体験

第2グループ：ホームステイ、ホームステイ解散式

#### 2月15日（日）

大阪府へ移動、大阪城参観、商業施設視察、歓送報告会

#### 2月16日（月） 関西空港より帰国

### 3 写真



2月9日 中村仁彦東京大学大学院情報理工学系研究科知能機械情報学教授の講義（東京都）



2月9日 日本科学未来館参観（東京都）

2月9日 东京大学研究院理工学系研究課知能機器情報学の中村仁彦教授の講座（東京都）

2月9日 参观日本科学未来馆（东京都）



2月9日 歓迎会 鍾呂傍団長挨拶（東京都）



2月9日 歓迎会 日本の高校生と交流（東京都）

2月9日 鍾呂傍団長在歓迎会上致辞(東京都)

2月9日 在歓迎会与日本高中生交流(東京都)



2月10日 皇居・二重橋参観（東京都）



2月10日 国会議事堂視察（東京都）

2月10日 参观皇居・二重桥（东京都）

2月10日 考察国会议事堂（东京都）



2月10日 東京外国語大学訪問・交流  
(東京都)



2月10日 東京外国語大学訪問・交流  
(東京都)

2月10日 東京外国語大学訪問交流(東京都)

2月10日 東京外国語大学訪問交流(東京都)



2月11日 トヨタ組立工場視察(愛知県)



2月11日 徳川美術館見学(愛知県)

2月11日 考察丰田汽车组装工厂(爱知县)

2月11日 参观徳川美术馆(爱知县)



2月11日 平和公園視察(長崎県)



2月11日 和風温泉旅館で日本文化体験  
(長崎県)

2月11日 考察平和公园(长崎县)

2月11日 在日式温泉旅馆体验日本文化  
(长崎县)



2月12日 愛知県政の説明（愛知県）



2月12日 名古屋市港防災センター視察（愛知県）

2月12日 愛知県講座（愛知県）

2月12日 考察名古屋市港防災中心（愛知県）



2月12日 熱田神宮参観（愛知県）



2月12日 長崎県政の説明（長崎県）

2月12日 参観热田神宮（愛知県）

2月12日 長崎県講座（長崎県）



2月12日 大浦天主堂参観（長崎県）



2月12日 グラバー園参観（長崎県）

2月12日 参観大浦天主堂（長崎県）

2月12日 参観哥拉巴公园（長崎県）



2月12日ハウステンボス環境施設視察(長崎県)



2月13日 名城水処理センター視察(愛知県)

2月12日 考察豪斯登堡后院环境设备(长崎县)

2月13日 考察名城水处理中心(爱知県)



2月13日愛知県立春日井高校訪問、交流(愛知県)



2月13日 愛知県立春日井商業高校訪問、交流(愛知県)

2月13日 愛知県立春日井高中访问交流(爱知県)

2月13日 爱知県立春日井商业高中访问交流(爱知県)



2月13日愛知県立旭野高校訪問交流(愛知県)



2月13日愛知県立瀬戸西高校訪問、交流(愛知県)

2月13日 爱知県立旭野高中访问交流(爱知県)

2月13日 爱知県立濑户西高中访问交流(爱知県)



2月13日 長崎県立佐世保北高校訪問、交流  
(長崎県)

2月13日 长崎县立佐世保北高中访问交流  
(长崎县)



2月13日 長崎県立佐世保北高校訪問、交流  
(長崎県)

2月13日 长崎县立佐世保北高中访问交流  
(长崎县)



2月14日 ホームステイ解散式 (愛知県)

2月14日 寄宿家庭欢送会(爱知県)



2月14日 ホームステイ解散式 (長崎県)

2月14日 寄宿家庭欢送会(长崎县)



2月15日 大阪城参観 (大阪府)

2月15日 参观大阪城 (大阪府)



2月15日 歡送報告会 訪日成果報告 (大阪府)

2月15日 欢送报告会, 汇报访日成果(大阪府)

#### 4 参加者の感想（抜粋）

○ 日本人は創造力が豊かで、科学技術の発展において優秀な成績を収め、特にロボット技術はトヨタ自動車工場など、日本の企業の生産分野で完璧に応用され、生産時間を大幅に削減すると共に、トヨタの自動車の質を大幅に向上させ、トヨタ自動車の名を世界に知らしめ、日本経済を益々発展させている。

日本人は大変礼儀正しく、実に礼節の国だ。中国は米国に次ぐ大国だが、国民の素質はいまひとつなので、中国の若者世代として、私達は日本の礼儀の文化をもっと広め、中国を本物の大国にするべきだ。

○ 今回の交流で一番印象に残ったのは、高校での交流とホームステイだ。書道は中国の伝統文化だが、日本はその良さを余すところなく発揮させ、これを見て中国の青年にも文化を継承し広める責任があると感じた。茶道の体験でも見識が広まり、今回の活動で、日本人の少しも手を抜かない仕事に対する姿勢を目の当たりにし、主客の立場をわきまえた礼儀正しい心温まるおもてなしに感動した。短い1泊2日のホームステイで、日本人と友情を築き、青年による日中の良好な関係促進の道を切り開くことができた。

香港に帰ったら、香港の青年に日本の青年の礼儀正しさを広めたい。香港の青年は幼い頃から家族に甘やかされ、「香港っ子」等の現象が起きている。だから、香港の青年に日本の青年の自律、礼儀正しさ、勤勉などの良い品格を学び、自分自身の素質を高めると共に、文化交流で他国の文化の長所をよく学ぶよう勧めたい。

○ 今回の旅行で一番印象に残ったのは和太鼓体験だ。これは春日井商業高校との交流での特別なイベントだった。太鼓は日本の伝統文化の一つで、アフリカ特有の楽器であるジャンベに似ている。私は文化が比較的好きなもので、帰国後は主に日本の伝統文化について広めたい。

私は日本で伝統文化について見聞きしたことを、身近な家族や友人と共有するつもりだ。日本で撮った写真をインターネット上で共有し、自分の経験を全世界に伝え、全世界で日本で継承されている文化の美德を学んで欲しい。

また、ホームステイ先の温かいおもてなしが深く印象に残っている。ホストファミリーとの触れ合いで、日本民族の特色、常に礼儀正しいおもてなしが、とても心地良いものだと知った。香港に帰ったら、この精神についても伝えたい。

○ まず、一番印象深かったことは、間違いなく日本でのホームステイだ。日本の家庭と生活習慣を身を以って体験することができた。ホストファミリーは中国語も英語もできなかったし、私も日本語が分からなかったが、意外にも人と人との関わりや感情は言葉に制限されることはなく、彼らのおもてなしの姿勢や親しみやすい表情に、だんだんと温もりを感じ、別れる時は名残惜しかった。この経験は本当に深く印象に残っている。

私が伝えたいのは、自分から心の窓を開けば、心の交流はいかなるものにも遮られること

はないということだ。香港の若者は殻に閉じこもり、心から打ち解けられる友達が少ない。でも、実は誠心誠意付き合えば、国籍が違ってても友達になれるのだ。

○ 今回の訪問で一番印象に残ったのはトヨタの自動車組立工場の見学だ。見学の際、トヨタの発展の概況、トヨタが世界各地に進出し、自国の先進技術を海外に伝え、発展させていることを知った。香港に帰ったら、私もより多くの自国の産業を支援し、独自の技術を海外に伝えることに協力したい。また、見学の時、工場の労働者は少しも手を抜かずに働き、各工程は全てシステム化され、秩序正しく各工程を完成させ、最後に1台の自動車が完成することを見ることができた。実は、何事もこれと同様で、真剣に一つ一つ細部を完成させれば、完璧な製品ができるのだ。だから、私は香港に帰ったら、このことを身近な人々に伝え、努力しこつこつと物事を行うよう皆に勧めるつもりだ。

○ 今回の訪問前に私が考えていた日本人は、常に威厳があって礼儀正しく、物事を行うにも日本独自の規則を守っていると思っていたが、今回の交流活動を経て、日本人が想像していたよりもっとオープンで、特に高校訪問の時、彼らが朗らかに温かくもてなしてくれ、思っていたほど重々しいものではなかった。例えば、学生たちは授業中、とても活発に討論し、私たちが置いてけぼりにならないよう、知っている限りの英単語で、できるだけ討論に加わらせてくれた。互いの共通の好みや話題が見つければ、初めは物静かで遠慮深い日本の学生たちもあつという間におしゃべりになり、それまでであった壁も全て崩れ、コミュニケーションの障害も消え、日本と香港の「シルクロード」が開通した。

また、同じく驚いたことは、日本人も中国人と同じく、特に大切な日に贈り物で客をもてなす習慣があることだ。これは面子のためか真心からかは関係なく、この習慣は日本人にもよくあるようだ。日本人の「90度のお辞儀」から、「ありがとうございます」という言葉にも、素晴らしい文化の継承が表れていて、人々の日常の言動に徐々に広がり、社会全体が高尚かつ文化的雰囲気満たされ、現在の中国や香港と比べると実に全く別世界だ。

それぞれ国の文化には長所もあれば短所もあり、全てをまねる必要はないが、互いに補い合い、郷に入らば郷に従えで、現地の人々を敬い尊重することで、国と国との友情が仲睦まじく長続きするよう効果的に促すことができる。このような文化は仮に完全に保存したとしても、科学技術の新しい流れにより、知らず知らずのうちに埋もれ、その精神も薄れていくだろう。日本科学未来館とトヨタ自動車工場の見学から、それぞれの国の既存の文化の差異は、グローバル化の下で小さくなり、最終的に1つになると予想できた。だから、今まだ残る精神と実物をしっかり大切にするか、或いは、より高い効果を狙って、それらを新しい科学技術に取り入れ、日本と香港の将来の関係を促進させるべきだ。

○ 東京外国語大学を訪問した際、東京外国語大学の学生受入規定やその他資料について知り、海外の大学に進学する利点があった。また、名古屋港防災センター見学では、地震と火災のシミュレーションを体験し、これまで地震を体験したことのなかった私も地震の威力を感じ、災害の被害について知ることができた。



○ 一番印象深かったのはホームステイ先の家族との対話だ。夕食の時、流行の文化や学校生活、生活習慣まで幅広くいろいろな話をした。でも、一番印象深かったのは、皆と自分の夢について語り合ったことだ。日本の友人の1人はお笑い芸人になりたいと言い、もう1人は家業を継いで、太陽光発電業界に入りたいそうで、皆どの分野でも一番になれるだろう。それぞれ唯一無二の夢を持つことは当たり前だ。私が一番身近な人に伝えたいことは、日本人が夢のために頑張り苦心していることだ。日本の学生は皆自分の目標がはっきりしていて、一心不乱に夢を追い続けている。日本人の気配りについても皆に伝えたい。日本人はどんな些細なことでも細やかに心を配っている。目標の実現には意志のほか、心を配りながら行動することも必要だ。小さなことを積み重ねてこそ自分の夢を実現できるのだ。

○ 今回の訪問で一番印象に残ったのは日本の青少年との交流と日本人の温かいもてなしだ。日本の青少年は活発かつ積極的で、私達のために素晴らしいプログラムを用意してくれ、すぐ互いに打ち解け、深い友情を築いた。ほんの短い1泊2日の間だったが、別れる時は名残惜しく、バスの後を「さよなら」と叫びながら追いかけてきた子もいて、これには本当に感動した。何が私達を結びつけたのか？これはきっと縁に違いない、きっとまた会えると信じている。

香港に帰ったら、周りの人に日本は先端技術が発達した国で、国民は優秀で礼儀正しく、清潔な環境で、忘れがたく、確かに一級の文化的先進国だと伝えたい。

また、日本側のスタッフの配慮が行き届いており、あれこれ気遣って問題を解決してくれ、病気になった仲間を誠心誠意、看病してくれた。それから、ホームステイ先では日本が環境保護とリサイクルを大変重視し、地球環境を愛護していることを感じた。

機会があれば、また日本を訪れ、親友にも日本文化を知るよう薦め、双方の交流を促進したい。

○ 今回の訪問で一番印象に残ったのは学校とホストファミリーとの交流だ。ホストファミリーはとても温かく迎えてくれ、行き届いたもてなしをしてくれた。話がうまく通じなかったときもあったが、身振り手振りでお互いを理解できたし、この経験はきっと忘れない。別れる日に僕は思わず泣いてしまった。なぜなら、本当に名残惜しく、ホストファミリーが僕を本当の家族のように接してくれ、これには本当に感動した。

香港に帰ったら、学校で友達に日本は人情味に溢れたところで、誠心誠意付き合えば日本人もきっとそれに答えてくれると伝えたい。また日本に来られたら、ホストファミリーを訪ねたい。なぜなら、僕も彼らを自分の家族のように思っているからだ。

○ 今回の訪問で、親しみやすいガイドの皆さんから、平和公園の歴史背景、孫中山氏と日本との関わり等、たくさんの興味深い日本文化に関する知識を得ることができ、多くの収穫を得て、日本政府の長崎での原爆投下後の苦しみや戦争と平和への反省などを理解することができた。また、長崎では、孫中山氏の過去や友人の梅屋庄吉氏の協力の下、革命や婚姻に

成功することができたと知り、梅屋庄吉氏と孫中山氏との友情を十分感じる事ができた。

佐世保北高校では、有意義な一日を過ごし、日本の高校生と一緒に授業を受け、生涯の友となるホスト生徒と知り合うことができた。彼女はとても親しみやすい人で、短い1泊2日の中で私の世話をしてくれ、日本の文化や九十九島等の名所旧跡について話してくれ、私の見聞が広まった。

帰国したら、友人、家族、クラスメート等に日本の文化-中国との共通点や相違点、それから日本で感じたことや、この活動に対する見解について紹介するつもりだ。

○ 平和公園の見学は、私にとって大きな収穫だった。平和公園の景色やデザインはとても美しかったが、その背後に隠れた意味はとても意外だった。平和公園は原子爆弾の破壊力と戦争の恐ろしさを後世に示すもので、説明が終わった後、私は高い建築物の前に来た。それは鐘で、犠牲者の冥福を祈るためのものだった。彼らは死ぬ前ずっと「水！、水！」と叫んでいたようで、水が放射能汚染され飲めなくなったことを知り、水の大切さ、資源の大切さを改めて考えさせられた。

ホームステイ先では、ホストファミリーの言葉に頭を殴られたような衝撃を受けた。「歴史は鏡とするもので、相手を責めるために使うべきではない」。その意味は、歴史は国家間の平和共存のために用いるもので、関係悪化のために用いるべきではないということだ。これを聞いて私は改めて中日関係について考えさせられた。

最後に、今回の訪日団に参加し、見聞を広めることができ、大変光栄に思う。